

# 美術科教育学会通信

◆1991年11月11日発行： 美術科教育学会本部事務局  
〒448 刈谷市井ヶ谷町広沢1 愛知教育大学美術教室内  
TEL. 0566-36-3111 (内線) 610 FAX. 0566-36-4338

NO. 5

## 学会理事選挙にあたって

学会代表理事 鈴木 寛男

ながい間の念願でありました理事選挙が、いよいよ実施されることになりました。その準備のために昨年の学会総会において選出された委員各位、並びに事務局のご尽力に対して厚くお礼を申し上げます。

歴史の新しい本学会は、この10年余の間に全国にわたって約400名の会員を擁するに至り、第15期の日本学術会議の学術研究団体として登録されるようになりました。その間、学会開催大学の先生方の献身的なご努力にたよってやって参りましたが、これはいわば「手作り」の臨時的な運営といってもよいと思います。ようやく、会員による理事選出という学会組織上の基盤の整備が緒についたと言えます。

造形美術を教科として教育の中に確立させたいという願いを果たす為には、この学会の発展充実が不可欠であると考えます。今回の理事選挙のもつ意味は確かに大きいと思うのであります。

美術教育という学問の将来について、『美術教育学』第12号の編集後記より引用しますと「固有な本質を失わずに、且つ広い領野にまで応用的に延びていく柔軟性を備えること」また「着実な歴史的研究と《美術教育》と称されるものを、ことばや理論で示すための精密な努力」などをあげ、「そのような研究と努力の積み重ねの後に、美術教育学という何かははっきり見えてくる」とあります。

どうか、会員各位も今回の理事選挙の意のある所をご理解いただきまして、ご協力くださいますよう切にお願い申し上げます次第であります。

\*今回の選挙に関する資格は、1991年3月29日までに入会された会員に限ります。それ以後に入会された会員には、投票用紙等は同封していません。（「通信4」を参照）

### 理事選挙に関する今後の日程

- 1991年12月 2日（当日消印有効）までに東京学芸大学へ投票用紙を返送する。
- “ 7日 選挙管理委員会による開票（立会人：増田金吾氏）、同日中に選出された会員に郵送によりその結果を通知する。
- 21日 選出理事が集まり補充理事を決定する。委員会はその結果を補充理事として選出された会員に郵送により通知する。
- 1992年 3月総会 委員会は選挙結果を報告し、承認を得た後、解散する。

# 第14回美術科教育学会開催案内（第2次）

日 程：1992年3月26日（木） 午後から開会—研究発表—（夕方、理事会）  
 27日（金） 午前—研究発表、午後—講演と研究発表  
 夕方—懇親会（大学生協）  
 28日（土） 午前—研究発表（全体会）と総会—閉会

会 場：静岡大学 教育学部 （〒422 静岡市大谷836）

参加費： 会員は 3,000円 一般は 4,000円

懇親会費： 3,500円（多数の参加をお待ちしております）

## ◆研究発表希望の方へ

- ・発表申込み締切り：1991年12月10日（火）必着
- ・申込み先：〒422 静岡市大谷836 静岡大学教育学部 美術科教育研究室内  
美術科教育学会大会事務局（担当：寺沢、木村）  
TEL. 054-237-1111（内線-4659, 4660） FAX. 054-237-9540
- ・申込み方法：下記の要領で作成した「発表申込み書」を〈はがき〉に書いてお送り下さい。ただし、会員以外の方は発表できません。その場合は、大会事務局（静岡大）に発表申込みをする前に、必ず本部事務局（愛教大）へ入会申込みの手続きをして下さい。本部事務局の住所等は、この「通信」の1頁、タイトル下にあります。
- ・発表要旨の作成：発表申込みをし大会事務局にて受理された会員は、右頁の書式に従って発表要旨を作成していただきます。そのまま印刷しますので、指定された枠線内におさまるよう完成原稿を作成して下さい。  
発表要旨は、1991年12月末日までに大会事務局（静岡大）へお送り下さい。

## ◆参加希望の方へ

1992年2月末日までに右記の郵便振込口座へ、参加費（+懇親会費）を振り込んで下さい。なお、当日参加も受け付けます。

名古屋 6 --- 77276  
 第14回美術科教育学会大会事務局

発表申込み書（例）→

★12月10日までに  
大会事務局へ

氏 名	ふりがな	所属	
発表題	（英文タイトルも必ず付けて下さい）		
住 所 （連絡先）	〒		☎
使用機器	ビデオ(8 <sup>mm</sup> , VHS, β), スライド、OHP等		

発表題目

—英文タイトル—

氏 名  
(ローマ字読み)  
所属

- ・ 35字／35行でこの枠内におさまるようにして下さい。
  - ・ これはレイアウト見本ですので、原稿にはB5の白紙をご使用下さい。
  - ・ 手書き、ワープロのいずれでも結構です。
  - ・ 発表概要集にはタイトル部分も含めてそのまま直接印刷されます。
  - ・ 完全原稿をお願いします。
  - ・ 校正はありません。
- ・ 記入に関して不明な点は、大会事務局（静岡大学）までお願いします。

## 学会誌の編集状況について

去る8月29日、30日の両日、東京・ペー  
 てる本社ビル会議室にて学会誌編集委員会が開  
 かれ学会誌掲載論文の審査が行われました。慎  
 重な査読・議論の結果、32編の応募論文のう  
 ち30編を掲載することを決めました。

論文掲載料等の問題は、学会財政の許す範囲  
 で、できるかぎり執筆者の個人負担を減らすと  
 うことが確認されました。詳細は次号で。

## 新入会員と退会者

●前回の名簿発行(1991年6月現在)以後、

□10月30日現在までの入会者(敬称略)

川島 敦子(奈良) 小林 照尚(岡山)  
 富安 敬二(東京) 仲亀 みさ(東京)  
 眞賀 芳郎(岡山)

◆賛助会員 奈良芸術短期大学(奈良)

◇改姓 久山まさ子→田中まさ子(岐阜)

□退会者(敬称略)

稲沢 保夫(愛媛) 木村 平(大阪)  
 黒川 滉二(福岡) 品川 由紀(茨城)  
 中山 裕子(広島) 半田 結(茨城)  
 疋田恵美子(茨城) 大和屋 巖(東京)

\*前回配付しました名簿に多くのミスがありま  
 した。お詫びします。訂正およびその後の住所  
 変更は次号でお知らせいたします。

89年度以来、会費納入が皆無の方について、来  
 年1月頃に会員を継続する意思の有無を確認しま  
 すが、前もってご連絡をいただければ幸いです。

## 会費納入の状況について

既に多くの会員から91年度の会費が納入さ  
 れました。御協力を感じます。前回のお知らせ  
 では、パソコンへの入力ミスのため「は」で  
 始まる名前の方など数人の会員にご迷惑をおか  
 けしましたことをお詫びします。今回も封筒に  
 はられたタック・シール上のお名前の下に、納  
 入状況を数字で示してあります。前回同様に、  
 「0」→89年度以来未納 「00」→未入会  
 「西暦年」→納入済み年度 を示します。

〈例〉「00, 90, 0」→90年度入会、納入済だが  
 91年度は未納

ご自分の納入状況について御不審がありま  
 たら本部事務局までお知らせ下さい。

下記のシンポジウムを美術科教育学会とし  
 ても応援することになりました。詳細は次  
 号または静岡大会々場にてお知らせします

### 日本ドイツ美術館教育シンポジウム

□1992, 5, 3-7

プレ・イベント(東京世田谷周辺)  
 D. Kerbs教授のドイツの美術教育につ  
 いての講演会を本学会が共催する。

■1992, 5, 8-9

シンポジウム  
 (東京ドイツ文化センター)

連絡先: 長田謙一会員 (03-3302-0227)

## 第2回美術教育を語る会開催案内

◇期日: 1991年11月20日(水)午後5:00~7:00

◇会場: 原ビル2F 「天狗」(7人)  
 (JR名古屋駅より徒歩3分 ☎052-562-5188)

◇会費: 5,000円

◇申込先: ☎470-12 豊田市豊栄町9-102-1  
 秋谷 英紀(愛知教育大学・院)  
 ☎0565-27-1171

★出席される方は、11月16日(土)必着で、  
 ハガキにてお申し込み下さい。

